



施主が設計者、施工者でもあるので、ローコストながら思い切り実験や試行をしていると思われるが、意外と落ち着いた空間に仕上がっている。耐震的には性能不明だが、小舞だけの垂れ壁を抜ける光と風は心地良さそう。

リフォーム前後の写真



リフォーム前 ⑩



③



①



②



④



⑤



⑥



⑦



⑧

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

・時間はあるが、お金の無い施主兼設計者兼施工者のための住まい+仕事室の計画である。築40年の長屋をローコストリフォームするために、施工は全てセルフビルドとし、既存するものを最大限利用することとする。

1. 玄関は、プリント合板下地の土壁をそのままとし、垂壁の一部は土壁のみ落とし、竹小舞をアクセントとして残した。
2. ガラス戸を、麻、蚊帳、シナ合板に張り替え、間仕切、目隠しに利用。

3. 工務店から譲り受けた、巾の異なる3種類のフローリングをランダム張。(食堂)

4. 竿縁天井の竿のみを残し、シナ合板、石膏ボード張。

・平面計画としては、中央和室を2分割することにより、動線を確保し、さらに寝室天井を下げることで、台所から裏庭へと抜ける空間に変化を持たせ、奥行きを感じさせている。

特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他( )

データ		所在地		構造 / 築後年数	
所在地	奈良県奈良市	構造 / 築後年数	木造 / 40年		
該当工事面積	50.6 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	20万円		
居住者構成	1人 (大人 15歳以上)	1人 子供	人) ベット		
設計者	設計工房 さんなすび	担当者	一見 直人・富田 俊介		
施工者	同上	担当者			

リフォーム前

リフォーム後

